

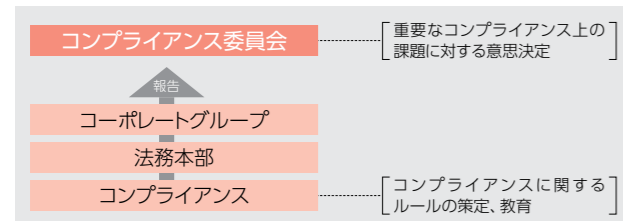
## コンプライアンス

当社では、法律、商慣行、社会倫理などのルールを守って企業活動を行うために企業行動憲章を定め、行動の指針となるコンプライアンスプログラムを策定しています。その実現のため、コンプライアンス体制の充実、コンプライアンスマインドの向上に取り組んでいます。

### コンプライアンス体制

コンプライアンスに関する情報を集約する組織として、コンプライアンス委員会を設置しています。当委員会では、全社的なコンプライアンス体制の整備と問題点の把握に努めています。

#### コンプライアンス体制図



### コンプライアンス研修

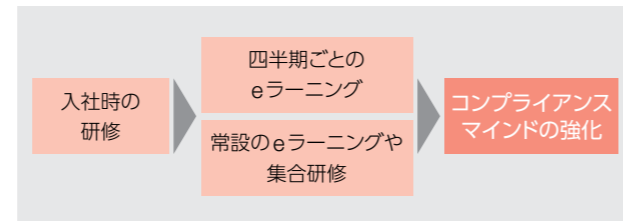
当社では、コンプライアンスマインド浸透の重要な一歩として、新卒、中途採用の全新入社員にコンプライアンス研修を実施しています。

また、全従業員を対象にコンプライアンス教育を四半期に一度実施し、個人情報保護、情報の適切な取扱い、ハラスメントの防止、知的財産権の保護などといった、具体的な

テーマを取り上げ、知識の定着とコンプライアンスマインドの向上に努めています。

さらに、各部門の特性を考え、より専門的な追加教育を部門ごとに行っています。

例えばお客さまの情報を取り扱う部門では、情報セキュリティに関する詳しい法令研修などを実施しています。



### コンプライアンス・ホットライン (内部通報制度)の整備

ルール違反など、コンプライアンス上の問題を発見した場合、それらの問題を通報(相談)することができる窓口を社内・社外に設置しています。この窓口では、相談者・通報者のプライバシーが厳守されており、通報・相談した本人に不利益が生じることがないように制度化されています。

## リスクマネジメント

リスク要因の発見と排除、リスクが顕在化した場合の迅速な対応など、リスクマネジメントの充実に努めています。なお、リスクに関する情報については、四半期ごとの決算発表時に開示しています。

### リスク管理

事業に関するリスクの把握や管理について、これまでの取り組みを「リスク管理規程」として体系的に整理しています。また、専門部署によるERM(全社的なリスクマネジメント)活動を通じて、各部門のリスク情報の集約とリスク管理の徹底を図っています。

### 事故報告システムの活用

「Yahoo! JAPAN」のサービスや、子会社を含む社内のみならず、さまざまな業務に関連して事故が発生した場合、報告システムを利用して、事象を発見してから1時間以内に報告を行うことになっています。報告された内容は、ただちに関係する複数の部署内で共有されるとともに、その重大度を3段階に分け、データベースで管理します。一つひとつの事故について状況把握、応急処置、原因分析、根本対策と進捗を管理し、再発防止に役立てています。

## 情報セキュリティへの取り組み

当社では、安全に安心して利用できるサービスをお客さまに提供し続けるため、全社を挙げて中長期的な視点で以下の方針と体制のもと、情報セキュリティに取り組んでいます。

### お客さまの情報保護を最優先する(機密性)

当社は、お客さまの情報はすべてに優先して守るべきものだと考えています。

お客さまからお預かりした個人情報は、役員、従業員でも社外に持ち出せない対策をとることを方針としています。

個人情報にアクセスする権限を持つ担当者を必要最小限に絞るといった体系的対策や、特に高い機密性が求められる個人情報は隔離・監視されたセキュリティエリア以外ではアクセスできないといった物理的な対策を組み合わせ、実効性の高い運用を行っています。

また、お客さまの情報の照会・変更・削除等はお客さま自身がシステムから行うようにしており、お問い合わせに回答するためにやむを得ない場合等を除き、役員、従業員等が個人情報を参照できないようにしています。

### サービスを止めない、データを壊さない (可用性、完全性)

当社は、24時間365日いつでもお客さまにサービスを提供し続け、また、お預かりした情報やコンテンツを破壊や改ざんから確実に守るべきであると考えています。特にお客さまや社会にとって重要性の高いサービスについては、不測の事態でも不断でサービス提供できる対策をとることを方針としています。

### ISMS(Information Security Management System) 認証の取得

当社および一部子会社は、全事業を対象に第三者機関の審査を受け、ISMS国際規格「ISO/IEC 27001:2013」および日本国内規格である「JIS Q 27001:2014」の認証をグループとして取得しています。

グループとして認証に組み込まれている子会社は、当社の情報セキュリティルールに準拠し、同一のマネジメントシステムで情報セキュリティを運用しています。

なお、当社のISMS認証取得の歴史は長く、2004年8月に

現在の規格の前身である「BS7799-2:2002」および、同規格に基づく国内規格「ISMS認証基準(Ver.2.0)」を取得しています。それ以降、国際規格の見直しにも対応し、現在も認証を維持し続けています。

### ISO15408認証の取得


2007年11月26日、当社はデータベースの情報漏えいを監視するシステム「iTres(アイトレス)」を開発し、「ISO15408」の認証を取得しました。「iTres」は、あらかじめ設定したポリシーに基づいて企業のデータベースへのアクセスを監視することにより、情報漏えいを防止しデータベースを守るシステムです。データベースへのアクセス監視を行うシステム分野で公開されている認証製品としては、国内初です。当社でも個人情報などの膨大なデータベースの管理運用に「iTres」を導入して、監視精度を高めています。

### PCI DSS認定の取得

2008年11月、当社はインターネット上の決済サービス「Yahoo!ウォレット」において、クレジットカード決済に関する会員情報や取引情報および決済プロセス等におけるセキュリティ基準である「PCI DSS」の認定を取得しました。

取得した認定は、PCI DSS審査の中で最も厳しい、取引件数の多い加盟店向けの「レベル1」要件です。オンライン決済サービスとして日本最大級である「Yahoo!ウォレット」における情報管理および取引プロセス等に関するすべてのシステムにおいて、その安全性が国際水準であることが認められました。

また、クレジットカードの国際ブランドであるVISA、およびMasterCardからクレジットカードのカード発行業務(イシューイング)と加盟店管理業務(アクワイアリング)におけるライセンスを取得し、2012年3月より自社におけるほぼすべてのクレジットカード決済において加盟店管理業務を行っています。当業務では、2012年2月に「PCI DSS」の認定を取得し、以後毎年認定の取得を継続しています。

 当社の情報セキュリティに関する詳細な情報は、Webサイトをご参照ください。  
<https://about.yahoo.co.jp/csr/stakeholder/06.html>